

令和6年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議 議事録

供 覧			記録者		副主幹 鈴木	
	部長	次長	課長	課長補佐	主査・係長	グループ員

件 名	令和6年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議		
日 時	令和6年7月19日（金）午後2時から午後4時		
場 所	龍ヶ崎市役所5階全員協議会室		
出 席 者	<p>【委員】 米原委員（会長）、五十嵐委員、林委員、大野委員、伊藤委員、永山委員、水野委員、上條委員、大芦委員、森上委員、山村委員（会議途中から出席）</p> <p>【市】 萩原市長、荒楨福祉部長、藤ヶ崎福祉部次長 こども家庭課 蔭山課長、沼崎課長補佐、櫻庭主事、記録者</p>		
欠 席 者	小林委員、飯塚委員、外山委員		
傍 聴 者	1名		
会議の内容	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 議事</p> <p>（1）第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定に係る方針及びスケジュールについて ・人口推計・世帯数等の推移について ・第2期子ども・子育て支援事業計画進捗評価について ・第2期子ども・子育て支援事業計画における各施策の総括と今後の取組みについて ・基本理念について <p>（2）その他</p> <p>5 閉会</p>		
情報公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第 号該当）
		公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	

発言者	内容
事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から令和6年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>傍聴の申し出がございましたので、龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例の規定によりまして、これを許可しております。傍聴される方につきましては、会議中にご静粛にさせていただきますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは開会に先立ちまして、米原会長よりご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
米原会長	〈会長あいさつ〉
事務局	ありがとうございます。続きまして萩原市長よりご挨拶申し上げます。
萩原市長	〈市長あいさつ〉
事務局	<p>続きまして、今年度より新たに委員となられた方をご紹介します。</p> <p>龍ヶ崎市PTA連絡協議会から昨年度の中村様が変わりまして外山千笑様が新たに委員となりましたが、本日欠席ということなのでお名前のみのご紹介とさせていただきます。外山委員の任期につきましては、前任者の残任期間ということで、令和7年11月29日まででございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>続きまして、今年度の人事異動により事務局職員に変更がありましたので、改めて職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>〈事務局紹介〉</p> <p>続きまして、これまでもご審議いただいております子ども・子育て支援事業計画につきまして、現在の第2期が今年度で最終年度ということになります。</p> <p>先ほど市長からもお話がございましたように、当市では、次期計画の策定に向けた取り組みをスタートしているところでございますので、今後計画策定までの間、子ども・子育て支援法及び龍ヶ崎市子ども・子育て会議条例に基づきまして、諮問という形で皆様にご審議をいただきたいと考えております。</p> <p>それでは、会長、市長ご起立いただきまして、諮問書を会長へお渡しいただきますようお願いいたします。</p>
萩原市長 米原会長	〈萩原市長から米原会長へ諮問書を手交〉
事務局	<p>ありがとうございます。萩原市長ですが、次の公務がございますので、ここで退席とさせていただきます。</p> <p>〈市長退席〉</p>
事務局	<p>続きまして、本日の委員の出席者数のご報告をさせていただきます。委員総数14名のうち、出席者が10名でございます。</p> <p>出席委員が過半数に達しておりますので、龍ヶ崎市子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定によりまして、本会議が成立したことをご報告申し上げます。</p> <p>次に、会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>〈会議資料の確認〉</p> <p>それではこれより議事に入っていただきたいと思いますが、発言の際には挙手していただき、お手元のマイクのスイッチを入れてご発言をお願いしたいと思います。終了された後、スイッチまた切ってくださいようお願いいたします。</p> <p>それでは米原会長、議事進行をよろしくお願い申し上げます。</p>
米原会長	<p>それでは、議事を進めて参ります。皆様には円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>ではまず、本日の議事録署名人を指名させていただきます。事前にお声がけさせていただいておりますが、今回の署名人は、五十嵐委員と水野委員にお願いしたいと思います。</p> <p>五十嵐委員、水野委員いかがでしょうか。</p>
両委員	議事録署名人了承

米原会長	<p>ありがとうございます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。お手元の議題に沿って進めて参ります。</p> <p>議事（1）第3期子ども・子育て支援事業計画の策定方針について事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	〈事務局より説明〉
米原会長	事務局からの説明について、ご意見、ご質問等がありますでしょうか。伊藤委員お願いします。
伊藤委員	市長との子育て座談会の参加者が16組20名と、市全体の人口に対して少ない印象を受けますが、開催の周知はどのように行ったのでしょうか。
事務局	りゅうほ一と市公式ホームページで周知を行いました。また、開催会場がさんさん館だったため、さんさん館利用者にスタッフから積極的な周知を行いました。
米原会長	他はいかがでしょうか。大野委員お願いします。
大野委員	関係団体ヒアリングや座談会の内容を知ることはできるのでしょうか。
事務局	<p>関係団体ヒアリングや座談会の内容について、本日の資料としてお出しするか検討していましたが、次回にヒアリングや座談会を行った結果やいただいたご意見についての概要をまとめ、皆さんにご覧いただこうと考えておりました。</p> <p>座談会では市の様々な事業へのご意見がありました。主な意見としては、市の子育て支援関係の施設の拡充をして欲しいという意見、未就学児や小学校に入学してからの放課後児童、その上のこどもたちの居場所をカバーできる施設があった方がより厚い子育て支援となるのではというご意見をいただきました。</p> <p>情報発信の一つとして、今月中に市公式ホームページを立ち上げて、関係団体ヒアリングや座談会の結果を公表していきたいと思っております。</p> <p>次回の会議では書面でお渡しさせていただきます。</p>
大野委員	ありがとうございます。概要というお話でしたが、子育てに協力している者として、細かいところの意見も知りたいと思っております。細かい部分に手を差し伸べられるところがあるのではないかなという気持ちもあるので、できれば細かく教えていただきたいと思っております。
米原会長	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>こういったこども関係だけではなく、様々な計画を策定する委員会というのは、各部署の職員の皆さんが誠実に向き合ってくださいますが、委員会を立ち上げた分、業務量も増えるため、次期計画についてはある程度メリハリをつけ、必要な事業についてしっかり記載するという方針のご説明でした。</p> <p>それでは次の議事に進めさせていただきます。人口推計・世帯数等の推移について事務局よりご説明をお願いします。</p>
事務局	〈事務局より説明〉
米原会長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見やご質問等がありますでしょうか。</p> <p>最後のページの出生数、合計特殊出生率のところ、現時点で0.98になっているところが龍ヶ崎市、国と県が上側ですね。龍ヶ崎市が1を切るようになってきているということでございます。皆様いかがでしょうか。</p> <p>まず、推計よりもこれまでの実績、変化が深刻ですね。特に年少人口は、日本全国ですが、推計よりも急激に減少してきていると見て取れます。いかがでしょうか。伊藤委員お願いします。</p>
伊藤委員	日本全国そうですが、どうしたら人口が増えるのか、若い人達への子育て支援は、どのようにすればこどもを産み育てるようになるのか。すごく難しいですが、そこが課題だと思います。このままだと人口が減ってしまっていて、市そのものをどうやって維持していくのか、将来的に不安だと感じています。本当にどうしたらいいのかなと思います。
米原会長	<p>ありがとうございます。本当にそうですね。</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の調査で、どうしてこどもが持てないのか、希望数と実際の数が少し違うのですが、何故かという、やはり経済的な面になり</p>

	<p>ますよね。</p> <p>教育費をはじめ、経済的な面でこどもは持てない、結婚も同じで経済的に安定していないから結婚のことを考えられないというようなこともありますので、子育て支援、生まれた後の支援だけではなく、こどもを持ちやすい環境というのを作っていかなければならないので、大きな目でこちらの会議でこれからご意見いただきたいと思います。</p> <p>他はいかがでしょうか。大野委員お願いします。</p>
大野委員	<p>人口を増やすということも課題ですが、子育て支援として龍ヶ崎の現状をしっかり見定めた上で問題を拾い上げ、解決していくことで産み育てやすくなり、上向きになると思います。</p> <p>父子家庭・母子家庭が増えている点ですが、先ほど経済的な不安で結婚しないという話でしたが、逆に女性の収入が多くなり、経済的に安定したことでパートナーがいなくても良いと思う女性が出てきているような気がします。子育てとは関係なくなってしまうのですが、そういった現状の問題を捉え対応することで少し前向きに行くのではないかと思います。</p>
米原会長	<p>ありがとうございます。一つ一つの課題を解決していくと。最後にありました、就業率の話については、他の国も含めまして、女性の経済的自立が進むと、一定程度少子化が収まる、女性が社会的自立をすると、ある程度こどもを持つというようなデータもあります。</p> <p>少なくとも龍ヶ崎市の出生率が1を割っていることに関して、どのように考え、取り組みをしていくのか課題になっているので、これについて市から何かありますでしょうか。もしあればお願いします。</p>
事務局	<p>そこまで至る要因に色々な事情があると思いますが、先ほど仰っていたような女性の社会進出であったり、女性が結婚で男性に頼らずに生活できる、そういった事情もあって少子化は進んでいます。市においても、まちの魅力創造課という少子化対策に向けた専門の課を設置しまして、今後どのようにすれば市の人口が増えていくのかというようなことを、色々と分析を行っています。例えば、出生率を増やすと言っても、0から1にするのか、産んだ人に2人目、3人目を産んでもらえるように施策を実施するのか。やり方が少し変わってくると思います。</p> <p>こういったものが市に効果的なのか、まちの魅力創造課の方で研究しまして、当課も関係課ですので、市全体で連携して取り組んでいくということで進めております。</p>
米原会長	<p>ありがとうございます。繰り返しますけれども、女性が自立できない地域からは女性が出てしまう傾向がある。これは過疎地域でよく言われることなのですが、働けない、社会的に自立できないという、女性がいなくなり結果的に少子化になるので、経済的に自立が出来る環境を作る必要があります。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p>
大野委員	<p>母子世帯数の推移及び一般世帯に対する母子世帯の割合というのが龍ヶ崎は高いですね。何だか少しショックに感じました。平成17年・22年・27年では高かった割合が、令和2年だとそう変わらなかった。この数字については、何か把握していることはありますか。</p>
事務局	<p>明確に掴んでいないため、今後研究させていただきたいと思います。</p>
米原会長	<p>他はいかがでしょうか。こういった資料というのは、本当に考えさせられます。我々だけではなく、広く市民の皆さんにも見ていただいて一緒に話をしたいですね。</p> <p>その他よろしいでしょうか。それでは先に進めさせていただきます。</p> <p>続きまして、第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗評価についてです。事務局からご説明よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>〈事務局より説明〉</p>
米原会長	<p>ありがとうございます。ただいまのご説明と事前質問への回答について、ご意見ご質問等ありますか。</p> <p>伊藤委員お願いします。</p>

伊藤委員	<p>大体わかりました。努力されていることは感じますが、トイレの洋式化について、今、ほとんどの住宅のトイレが洋式化されている中で、全体で50.8%というのは、どうなのかと思います。今後どう進めていくのでしょうか。</p>
米原会長	<p>ここでは50%程度が洋式化されていますが、改善の歩合について、急に20%が50%になっているのか、48%から50%になっているのか、また、その先はどうなっていくのか分かれば事務局の方からお願いします。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。こちらの詳細については、担当課に確認させていただきます。改めて回答させていただきます。</p>
米原会長	<p>他はいかがでしょうか。伊藤委員お願いします。</p>
伊藤委員	<p>中学校部活動の地域移行ですが、具体的にその地域で指導者を受けてくれる人はいるのか、また、どのように取り組んでいくのでしょうか。指導を地域の方にお願いしてということだと思いますが、ボランティアという扱いになるのでしょうか。ボランティアでやることには限界があると思うのですが、その辺りの進め方がどうなっているのかということをお聞きしたいと思います。</p>
米原会長	<p>事前質問に対する回答の2枚目のところですね。部活動の地域移行について、もう少し具体的にお聞かせいただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>申し訳ございません、こちらにつきましても担当課に確認させていただきますので、よろしくをお願いします。</p>
米原会長	<p>恐らくある程度の補助金が出て、人件費の幾ばくかはきちんと払うはずですが、こちらに記載のあるクラブ・ドラゴンズは、流通経済大学との関わりも深い NPO 法人で、スポーツ系の学生ですとか、卒業生等も関わってくれているものですから、彼らの活躍を期待して下さっていると思うんですが、また詳しい説明を次回していただければと思います。</p> <p>元々、教員の方のボランティアだったわけなので、それが外に出た際にどうなるのかということですね。ぜひ、無理のない形で、持続可能な形が望ましいということですね。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p> <p>施策があり、その担当の課があり、教育委員会も含めた各部署の回答が載っているから、例えば102番であれば、事業評価の報告を出しているからそれを見ろというような感じですね。その様に書かれても困ってしまうのが読んでいる側ですが、そう答える部署の気持ちも分かりますけれども。少し具体的に、こどもたちのためにどのように事業が進んでいるのか、施策が進んでいるのか、そういった視点で読んでいただければと思います。おそらく答える部署の方もお忙しいと思うんですよね。</p> <p>危険箇所のところで、各施設に散歩経路上で危険なところを見ていただいたとありますが、危険箇所が分かったのであれば、なぜその危険を回避しないのか、というその先のところが本来役所の仕事なんですけれども、なかなかその先まで進めていない現状のようですね。なかなか難しいのでしょうか。</p> <p>森上委員お願いいたします。</p>
森上委員	<p>32ページ⑥、子どもの危険箇所の改善という点について、龍ヶ崎市に住んでいる身として、これはどうなんだと思ったのですが、ここでこどもが転ぶ、ここが危ないという箇所を発見することがあるのですが、そういった市民の声を届ける目安箱のようなものはあるのですか。見回りをしてくださっているということだと思うんですけれども、そういう方以外に市民からの声を届けることができるのでしょうか。</p>
米原会長	<p>事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>市道という市で舗装した道については、市の LINE で道路公園課の方につなげる仕組みができています。</p>
森上委員	<p>私も LINE 登録をしているので見てみます。ありがとうございます。</p>
米原会長	<p>そういう取り組みをぜひ広報して欲しいですね。</p> <p>大野委員お願いします。</p>
大野委員	<p>私も1カ所道路の陥没を見つけたんです。私はLINEや市のホームページ等が得</p>

	<p>意ではないのですが、見つけた時にすぐお伝えしたいなと思い市役所に電話しましたら、2週間後くらいには埋まりましたね。</p> <p>本当にすごく大きな下が見えるぐらい、小さなお子さんだとはまってしまうような穴を見つけたので、びっくりしたのですが、迅速に対応していただけたなと思っています。</p>
米原会長	<p>他はいかがでしょうか。大芦委員お願いします。</p>
大芦委員	<p>21ページの④No.88について、娘が中学生の時に、このようなことが学校で問題になり、学校の先生達から保護者への聞き取り調査等が入り、子ども自身にも直接話をしたり、聞き込みということがあったのですが、SNSは子どももやめられないと思いますし、絶対に問題になる危険が隠れていると思います。</p> <p>「未然に防ぐため家庭や保護者への積極的な啓発に努めました」とありますが、親と子どものコミュニケーションが取れていないと、聞き込み調査したとしても全然話も食い違ってきてしまいます。何よりも、親と子どもがコミュニケーションを取れていることを前提としていて、SNSの書き込みについてのチラシ等が回ってはくることももちろん大事ですが、親と子どもでこういうふうコミュニケーション取りましようなどの案内が欲しいと思います。中学生は反抗期や思春期で家庭での会話も減ってくるでしょうし、もっと家庭の中での親と子どもが良好な関係を築けるような発信をしていただけるとよいと思います。親ももちろん分かってはいますが、それを見れば、そういえば最近あまり話してないなどという、気づきに発展していくのではないかと思います。</p>
米原会長	<p>ありがとうございます。今の子どもたちは多くスマホを使用しますし、具体的に人間関係をどうやって作っていくのかというのは、親自身が子どもの頃にスマホがなかったため、どうやって接したらいいかわからないという意味では、大人向けのスマホ・SNSとのつき合い方の講習等、学ぶ機会というのにも必要かなと思いました。</p> <p>なかなか難しいですが、地域によってはau、docomo等の事業者を講習会等のため、学校が呼んで伝えてもらっているというような事例もあるようですね。</p> <p>ネットいじめはなかなか難しい問題で、見つけると文科省に報告しなければならないのですが、文科省から報告される数は全国で少ないです。私も定期的に文科省の報告を見ていますが、学校の先生もすごく気をつけて対応してくださっていると思うんですけども、ご発言のように家庭もすごく大事だと改めて感じました。</p> <p>他はいかがでしょうか。大野委員お願いいたします。</p>
大野委員	<p>19ページのつぼみ園のことですが、児童発達支援と放課後等デイサービスの事業をやっておりまして、保護者からの声として、つぼみ園の利用がしづらい、という声が聞こえます。方針を少し考えていただくと良いかなと思います。</p> <p>例を一つ出しますと、普通学校に通っているお子さんに学校のある日につぼみ園に来てくださいと連絡があり、保護者は学校のクラスで順調にいっているから、そのリズムで学校に通わせたいため休ませてまでつぼみ園に行かせられないと判断をしてキャンセルしたそうです。その気持ちもわかるなと思いました。学校が大切などころになってきて、良い方向に行っているのであれば、そちらを中心に考えて当たり前だと思います。長期休暇等にそういう方たちを入れることになると、おそらくいっぱいいっぱいなんだと思います。そうすると、課題が見えてくると思うので、それをどのように解決するかというと、指導員や担当の方たちを増員するなどと思っているのですが、そういった対応を検討していただけたらと思います。</p>
米原会長	<p>いかがでしょうか。事務局の方からお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。担当課の方にその旨伝えまして、必要に応じた対応を行うように申し伝えたいと思います。</p>
米原会長	<p>ありがとうございます。委員からの発言でもありましたが、そもそも利用者が多く、予約が詰まっているというような課題があるかと思っています。今のページでは、令和2年の登録児童数が198だったのが令和5年だと276となっており、35%</p>

	<p>増しています。体制がどうなっているのかが課題になっているのかもしれませんが。</p> <p>こどもの数は増えず、利用者は微増するというのがどこの自治体でもあるようです。割合が高くなるのは療育に対する期待の表れですので、ぜひその期待に応えられるようにというご意見だったと思います。</p> <p>他はいかがでしょうか。こちらの進捗評価でございますが、次の計画を立てる際の大事な資料となって参りますので、また、別の機会ございましたら、ご意見いただければと思います。それでは先に進めさせていただければと思います。</p> <p>第2期子ども・子育て支援事業計画における各施策の総括と今後の取り組みについて、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	〈事務局より説明〉
米原会長	<p>ありがとうございます。ただいまのご説明と回答について、ご意見ご質問はありますでしょうか。</p> <p>私から3ページの一番下のところ、今後の取り組みの方向性で、上の二つが育児不安解消と児童虐待防止で、少しネガティブな方向なので、より子育てが楽しめるような等、そのような言葉も入れていただきたい。</p> <p>例えば育児不安解消ではなく、子育てが充実するや子育てが楽しめるためにとこのような言葉を入れることによってより多くの人を対象とする方向になるのかなと感じました。今改めて読んできると、色々な発見がありました。</p> <p>他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、基本理念について事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	〈事務局より説明〉
米原会長	<p>ありがとうございます。この資料の上半分が市の最上位計画で、今回ご説明いただいているのが下の部分の表となっているということですね。これについていかがでしょうか。</p> <p>事前に事務局と話した中で、「喜びを実感しながら産み」というのは、産むのは一時で育てるのは長く、少し座りが悪いと話したら、最上位計画の龍ヶ崎が目指す姿のイメージにより、この文章が入っているとご説明いただいて、ではそこで決まったことなのだなと改めて知ったわけなんですけど、別にそのまま使わなくても、ここでご意見がありましたら出していただきたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>森上委員、お願いします。</p>
森上委員	<p>「喜びを実感しながら」というのは、喜びを実感するのは親の目線という感じでしょうか。資料の1番上にある政策の柱には「子どもや若者が健やかに育ち」という記載があるが、親の目線という印象がありました。</p> <p>おそらく親も子どもも龍ヶ崎に住んでいる人がという意味だと思いますが、親に偏っている印象を受けました。</p>
米原会長	ありがとうございます。対象範囲の確認もあるかと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	そうですね。そういう部分もあるかなと思いますが、親も子どももということ、こどものことを考えてないということではないとご理解いただければと思います。
米原会長	ですが、親だけではない、ということに記載しなければ、言い続ける必要があると思いますが、いかがでしょうか。基本理念の案については、子育て支援のことがメインになってるように読めてしまうということです。
事務局	<p>今回のこの事業計画について、主な目的というのが、親目線になってしまうかもしれませんが、適切な教育・保育の見込み量の確保が主眼となっています。</p> <p>例えば、こどもが喜びを感じながら生活ができるや、希望を持って生きていくというような子どもがメインとなるような文言につきましては、先ほどの資料①の3ページに今後予定している市町村子ども計画の中で、こどもの意見というのも聴取しながら、こどもの意見や権利を踏まえたものも、盛り込んでいく予定にしておりますので、その中で、こどもの部分に関しての記載がかなり手厚くなる</p>

	かと思えます。 決してこの今回の計画は、こどもの目線が全く外れているというものではございませんので、お含みおきをいただければと思います。
米原会長	ですが、第2期子ども・子育て支援事業計画では、基本施策の3が「こどもが健やかにいきいきと育つ環境づくり」ですよね。基本施策の2が「地域でのびのびと子育て、子育てできる環境づくり」というのがあったのですが、そちらについて今回はあまり基本理念で打ち出さないということでしょうか。
事務局	本市最上位計画での考えを踏まえて、この表記としたところであり、先ほど申し上げましたように、こどものことを考えていないということではありません。
米原会長	私は他に立川市と世田谷区の子ども・子育て会議に関わっていますが、どちらかという、こども主体で考えていました。こどもたちが豊かに育つために、子育て支援をするという立て付けに、今申し上げた二つの自治体はしています。何のための子育てかというところに、こどものための子育てだという立て付けにしていました。この部分について、事務局も目的は変わらないというお話だと思いますがいかがでしょうか。
事務局	繰り返しになってしまいますが、こどもだけを目線にとるわけでもなく、親だけの目線でもないですし、どちらかという親目線の方が強いという印象も受ける部分の表現なのではないかと思いますが、当然、こどものことも考えています。 こどもを主体的に出していくのは、先ほど申し上げましたように、こども計画はこどもの意見を吸い上げながら策定していくものになりますので、こどものことを考えてないということではないことをご理解いただきたいと思えます。
米原会長	こども計画は、龍ヶ崎市ではいつごろ策定するという見通しでしょうか。
事務局	まだ明確には決まっていますが、昨年度において、国のこども大綱ができ、法律上のたてつけでは、国のこども大綱ができた後、茨城県のこども計画を策定し、市町村レベルのものについては必ずしも県の計画ができないと作ってはいけないというものではありませんが、基本的には茨城県こども計画を踏まえた上で、市のこども計画を策定するのが望ましいということになっています。そのため、できれば県のこども計画が策定され、その内容を確認し整合を図りながら策定していきたいと考えています。 しかしながら、先ほど冒頭で申し上げましたように、県のこども計画がいつできるのか明確になっておりません。今年度で作ると言っていたような気もしますが、こども計画は先ほども申し上げましたように、こどもの意見を聴取した上で策定していくということになると、すぐには策定できないと思えます。そのため、その点を加味すると、令和8年度もしくは9年度あたりになるのではないかと考えています。あくまで見込みなので確定はしておりません。
米原会長	ありがとうございます。そうすると空白期間がないようにしたいというのが委員の皆さんのご反応だと思えますので、なかなかご説明が難しいと思うのですが、こどもの目線を大事にしてないわけじゃないというのをきちんとどのように表現していくのか、ということについては、より丁寧に進めていただきたいところかと思えます。 この子ども・子育て支援事業計画については、こどもへのアンケートはなかったのでしょうか。
事務局	こどもへのアンケートはなく、保護者へのアンケートを実施いたしました。そちらは昨年度第2回子ども・子育て会議で出させていただいたかと思えます。
米原会長	ありがとうございます。伊藤委員お願いします。
伊藤委員	こども計画を作るときに、こどもへのアンケートは重要だと思うのですが、それをやらない理由は何かあるのですか。国の方でやらなくて良いとなっているのですか。
米原会長	子ども・子育て支援事業計画では行いませんが、次のこども計画を作るときに行うということですよ。
事務局	こども計画策定にあたってアンケートを行うかどうかは未定ですが、こどもの

	意見の吸い上げを行います。こういった形になるかは未定です。ただ、こどもの意見を吸い上げた上で、計画を策定しなさいということなので、やり方がどういう形になるかはまだ決まっておりません。
米原会長	<p>今、第3期の計画策定ですけれども、1期目・2期目についても、こどもへのアンケートをとっている自治体というのは少なくありません。特にコロナ禍を経て学校でタブレットで回答することもできるようになっていますので、比較的、そういったことが進めやすくなっているという状況にあるようです。</p> <p>それはこの基本法に書いてありますので、吸い上げるどころかこどもの委員会を作るようにという方向性だと思いますので、こどもだけの会議なのか、こういった会議の中にこどもも参加してもらうのかですね。</p> <p>また、その一部のこどもだけではなく、よりたくさんの子どもの意見をどう吸い上げるのか、ということも検討課題となっているかと思います。</p> <p>この市の最上位計画に沿った基本理念ということでございます。</p> <p>それではよろしいでしょうか。</p> <p>議事（2）その他について事務局からお願いいたします。</p>
事務局	〈事務局より説明〉
米原会長	ありがとうございます。その他委員の皆さまから何かございますでしょうか。森上委員お願いいたします。
森上委員	策定スケジュールですが、10月以降の会議の日程も分かっているようであれば教えていただけますでしょうか。
事務局	申し訳ございません、まだ日程の方が出ておりません。概ねそのくらいの時期だろうということで、資料1を見ていただくと、マスクが月に三つあると思います。その辺りに開催したいということですので、ご理解いただきたく思います。
米原会長	他はいかがでしょうか。それでは、本会議を閉じたいと思います。円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございます。進行を事務局にお返しします。
事務局	<p>米原会長、議事進行ありがとうございます。委員の皆さまにつきましても、ご審議いただきましてありがとうございます。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第1回子ども・子育て会議を閉会させていただきます。本日はありがとうございます。お疲れ様でした。</p>

上記については、令和6年7月19日に開催した、令和6年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議の会議録に、相違ないことを確認したので署名する。

令和 年 月 日

会 長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____